H0B247S
2026.8
（メーカー管理用です。）

施工説明書

TOTO

小便器用排水ソケット（床置用）

HP910　HP910E

商品の機能が十分発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。

1 安全に関するご注意（安全のために必ずお守りください）

施工の前にこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお取り付けください。
この説明書では、商品を安全に正しくお取り付けいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。
その表示と意味は次のようになっています。

表　示	意　味
⚠注意	この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

※物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を示します。

お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

❗は必ず実行していただく「強制」内容です。
左図は、「必ず実行」を示します。

⚠注意

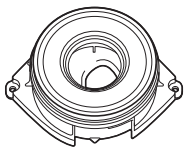
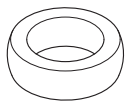
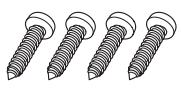
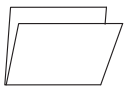
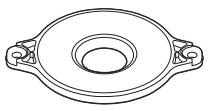
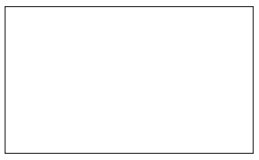
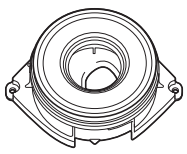
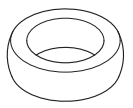
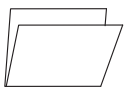
必ず実行

塩ビ管用、鉛管用の用途にあった排水ソケットを使用する
正常な取り付けができなくなり、水漏れの原因になります。

施工の際に使用する部品は付属部品および指定部品を使用する
正常な取り付けができなくなる可能性があります。

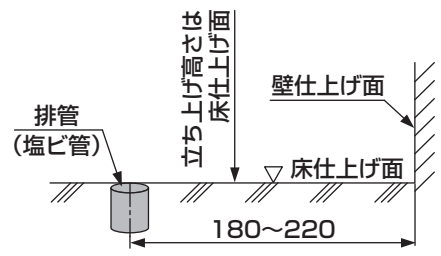
2 同梱部品

■部品があるか、下記を参照して確認してください。

HP910	 排水ソケット本体 1個	 Pシール 1個	 タッピンねじ(5×50) 4本	 施工説明書 1部
	 塩ビ管用フランジ 1個	 位置決めシート 1部		
HP910E	 排水ソケット本体 1個	 Pシール 1個	タッピンねじ(5×50) 2本	 施工説明書 1部
	位置決めシート 1部			

3 塩ビ管用(HP910)の場合

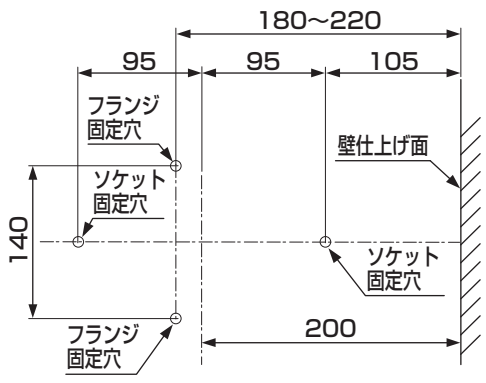
❶床仕上げ後、壁仕上げ面から排管（塩ビ管）の位置が正しいか確かめ、下図のように排管を床仕上げ面で切断します。
リモデルの場合は、既設の排水ソケットを外してください。　（単位：mm）



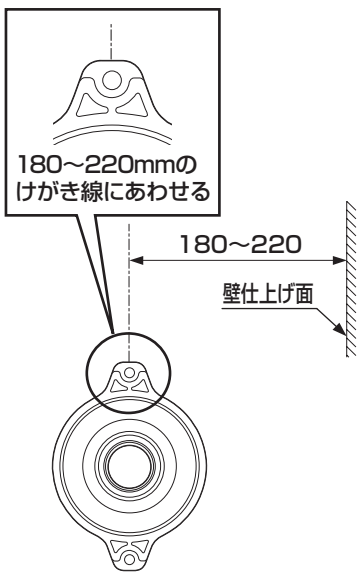
排管（塩ビ管）位置および切断寸法

❷塩ビ管用フランジの固定は、排管の中心線をけがき取付穴位置をけがきます。
けがいた位置にφ3程度の下穴を開けておくとタッピンねじの締め付けが比較的容易になります。

（単位：mm）

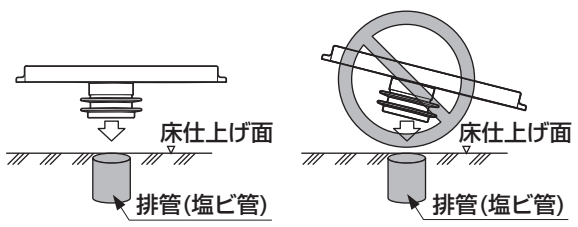


塩ビ管用フランジ・排水ソケット本体固定穴位置



塩ビ管用フランジ

❸塩ビ管用フランジを排管に向かって真っすぐ底付きするまで押し込みます。
※必ず塩ビ管用フランジの中心指示線を罫書き線にあわせてください。



塩ビ管用フランジの取り付け

❹塩ビ管用フランジをタッピンねじで固定します。

❺位置決めシートの取付基準線を後壁面から200mmにあわせて置く。

❻排水ソケット本体の取付穴位置をけがきます。
※けがいた位置にφ3程度の下穴を開けておくとタッピンねじの締め付けが比較的容易になります。

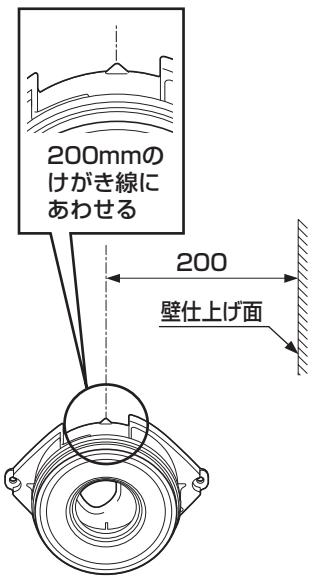
3 塩ビ管用(HP910)の場合(つづき)

❼排水ソケット本体の取り付ける向きは排管の位置により異なります。

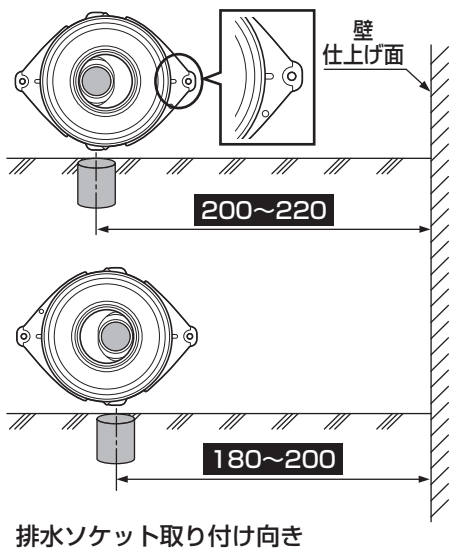
・壁仕上げ面より
220～200mmと200～180mmで排水ソケット本体を図のとおり取り付けます。

※排水ソケット本体を取り付ける際は排水ソケットの向きにご注意ください。向きを間違えますと排水不良になる場合があります。

（単位：mm）



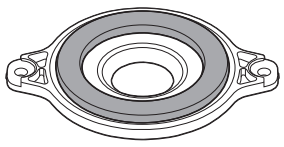
排水ソケット本体



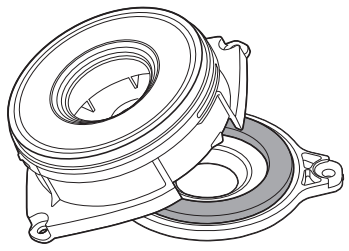
排水ソケット取り付け向き

❽塩ビ管用フランジにPシールを取り付けます。

※Pシールは排水口内側へ、はみ出さないように塩ビ管用フランジ中央に取り付けてください。
※Pシール接着面に付着しているゴミや水分を取り除いてください。また、Pシール包装紙記載の施工説明書を必ずお読みください。



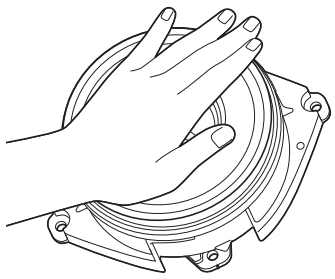
①Pシールを取り付ける



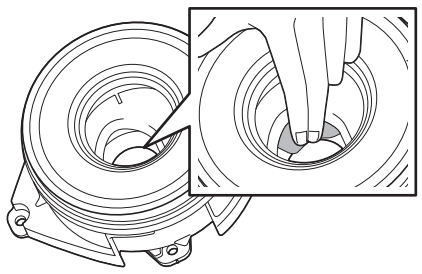
②排水ソケット本体をかぶせる

❾排水ソケット本体を塩ビ管用フランジの上からかぶせるようにしてタッピンねじで固定します。

※排水ソケット本体はPシールがしっかりなじむように底付きするまで押し付けてからタッピンねじで固定してください。
※Pシールが排水口内側にはみ出た場合は、水が流れやすいように外側に広げて段差をなくしてください。



①Pシールがなじむように排水ソケット本体を押し付ける



②Pシールが排水口内側にはみ出した場合は外側に広げてください。

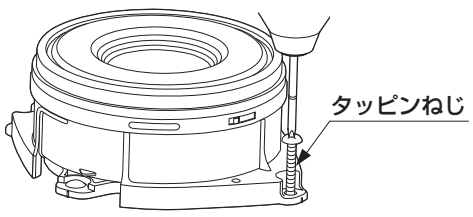
⚠ 注意

必ず実行

・塩ビ管用フランジのねじ穴から下穴が見えない場合は下穴を打ち直す
・排管ならびに排水ソケットパッキン部に接着剤は塗らない
・パッキンおよび配管のほこりは挿入前に除去する
・**パッキンにしわがよらないよう（ねじらず）真っすぐに挿入する**
水漏れの原因になります。

・**塩ビ管用フランジが床に接するように2本のタッピンねじをしっかりと締め込む**
タッピンねじの締め込みが不完全な場合、水漏れの原因になることがあります。

❿排水ソケット本体をタッピンねじで固定します。



⚠ 注意

必ず実行

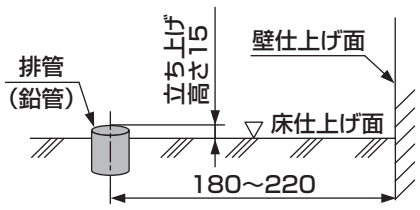
排水ソケット本体が床に接するようにタッピンねじをしっかりと締め込んでください。
タッピンねじの締め込みが不完全な場合、水漏れの原因になることがあります。

裏面へつづく

4 新設鉛管用(HP910E)の場合

❶床仕上げ後、壁仕上げ面から排管(鉛管)の位置が正しいか確かめ、下図のように排管を床仕上げ面から15mm程度で切断します。

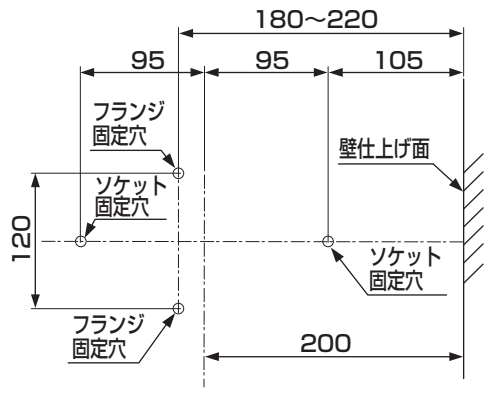
(単位：mm)



排管(鉛管)位置および切断寸法

❷鉛管用フランジ（別売品：T64FWN）の固定は、排管の中心線をけがいた後、取付穴位置をけがきます。
けがいた位置にφ3程度の下穴を開けておくとタッピンねじの締め付けが比較的容易になります。

(単位：mm)

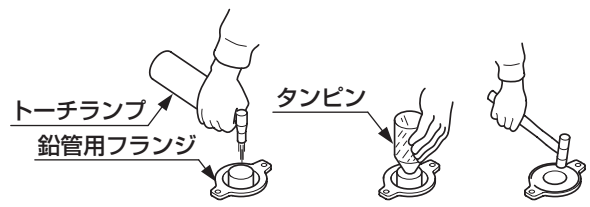


鉛管用フランジ・排水ソケット本体固定穴位置

❸鉛管用フランジの中心を排管中心線にあわせて床にタッピンねじで固定します。

❹排管をトーチランプで加熱し、タンピンなどを使用して先端を膨らませます。

❺排管を鉛管用フランジ面にそわせ十分に広げ、鉛管の上端をはんだ付けします。

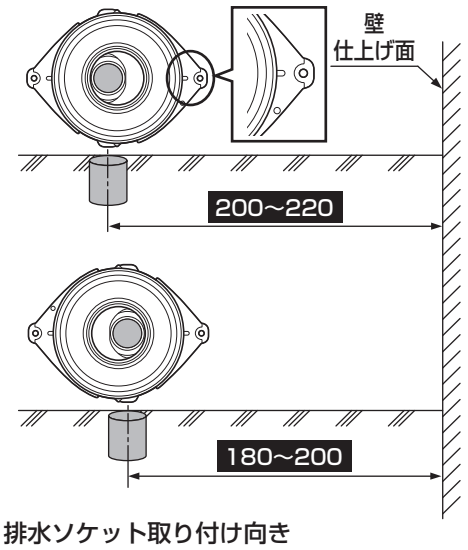


❻位置決めシートの取付基準線を後壁面から200mmにあわせる。

❼排水ソケット本体の取付穴位置をけがきます。
※けがいた位置にφ3程度の下穴を開けておくとタッピンねじの締め付けが容易になります。

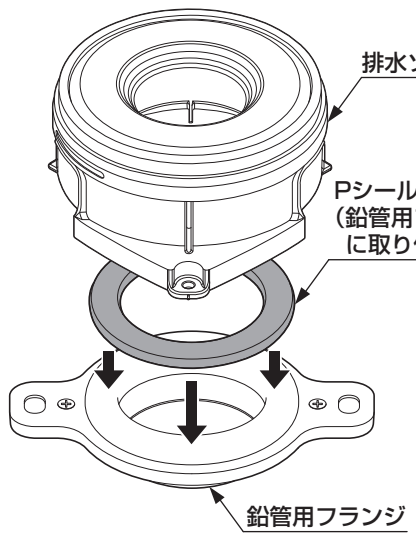
❽排水ソケット本体の取り付ける向きは排管の位置により異なります。
・壁仕上げ面より
220~200mmと200~180mmで排水ソケット本体を図のとおり取り付けます。
※排水ソケット本体を取り付ける際は排水ソケットの向きにご注意ください。
向きを間違えますと排水不良になる場合があります。

(単位：mm)



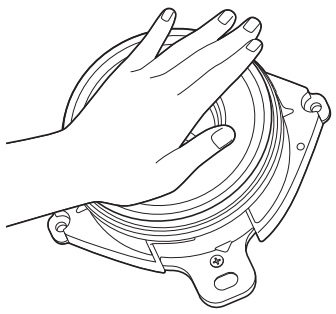
排水ソケット取り付け向き

❾鉛管用フランジにPシールを取り付けます。
※Pシールは排水口内側へ、はみ出さないように鉛管用フランジ中央に取り付けてください。
※Pシール接着面に付着しているゴミや水分を取り除いてください。また、Pシール包装紙記載の施工説明書を必ずお読みください。

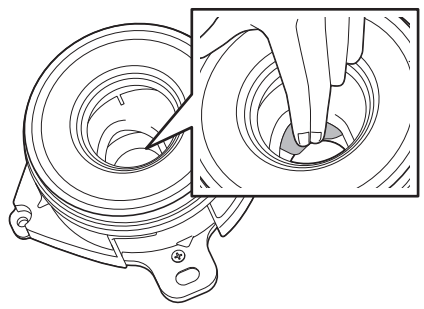


Pシール取り付け位置

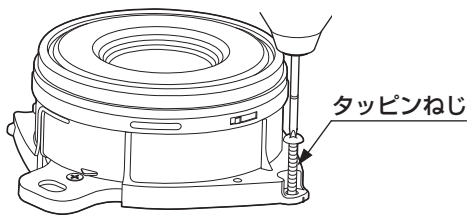
❿排水ソケット本体を鉛管用フランジの上からかぶせるようにしてタッピンねじで固定します。
※排水ソケット本体はPシールがしっかりなじむように床付きするまで押し付けてからタッピンねじで固定してください。
※Pシールが排水口内側にはみ出た場合は、水が流れやすいように外側に広げて段差をなくしてください。



①Pシールがなじむように排水ソケット本体を押し付ける



②Pシールが排水口内側にはみ出した場合は外側に広げてください。



⚠ 注意

必ず実行

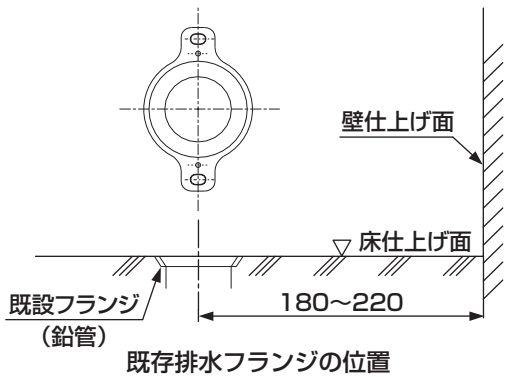
排水ソケット本体が床に接するようにタッピンねじをしっかりと締め込んでください。
タッピンねじの締め込みが不完全な場合、水漏れの原因になることがあります。

5 既設取替え用(HP910E)の場合

❶既設排水フランジがTOTO製と確認できた場合、取替用排水ソケットで対応できます。

❷既設排水フランジの位置を確かめます。

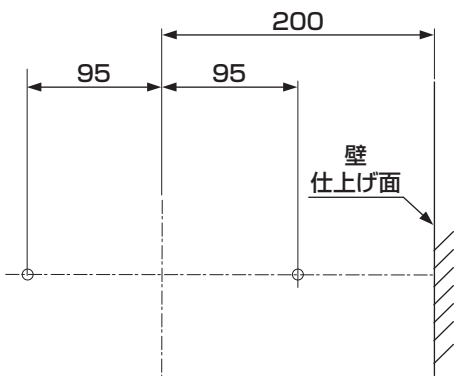
(単位：mm)



既存排水フランジの位置

❸位置決めシートの取付基準線を後壁面から200mmにあわせる。

(単位：mm)

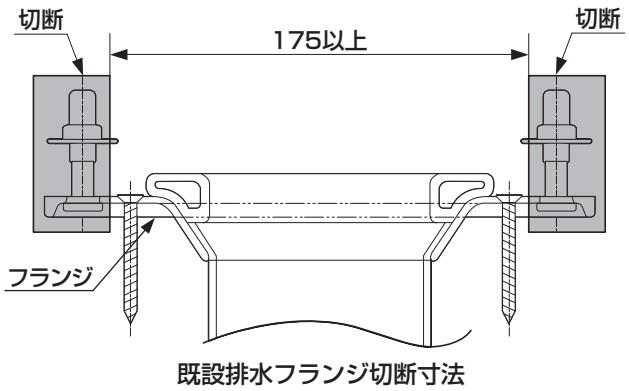


排水ソケット本体固定穴位置

❹既設排水フランジの位置が壁仕上げ面より220~200mmと200~180mmで排水ソケット本体の取り付け方向が異なります。

❺幅の広い既設フランジや固定ボルトについては下図の寸法で切断します。

(単位：mm)



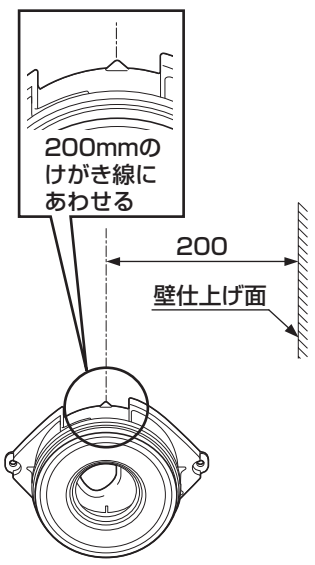
既設排水フランジ切断寸法

❻既設フランジのシール面のPシール・尿石・ごみ・水をきれいに取り除きます。

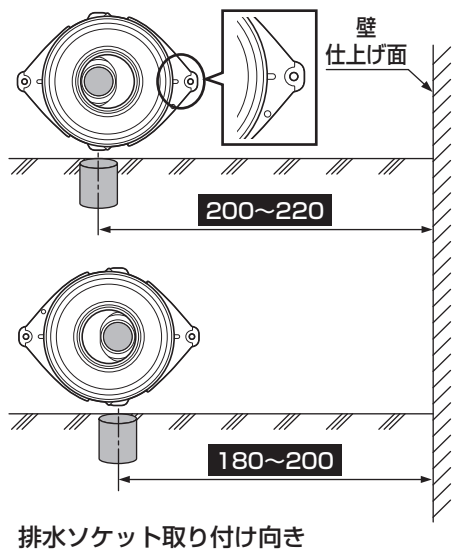
❼排水ソケット本体の中心指示表示箇所を壁仕上げ面より200mmの中心線にあわせる。

※取付穴をけがく際は排水ソケットの方向にご注意ください。方向を間違えますと排水不良になる場合があります。

(単位：mm)



排水ソケット本体

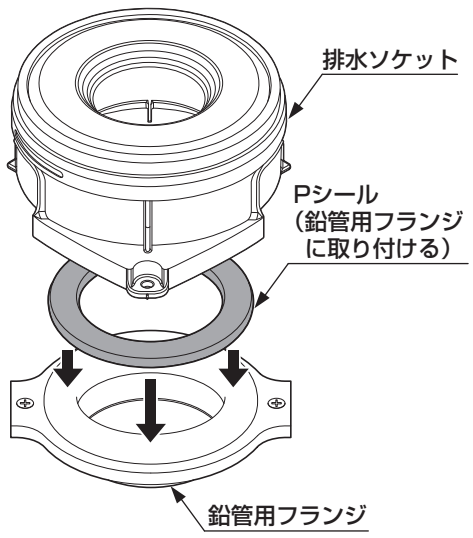


排水ソケット取り付け向き

❽鉛管用フランジにPシールを取り付けます。

※Pシールは排水口内側へ、はみ出さないようにフランジ中央に取り付けてください。

※Pシール接着面に付着しているゴミや水分を取り除いてください。また、Pシール包装紙記載の施工説明書を必ずお読みください。

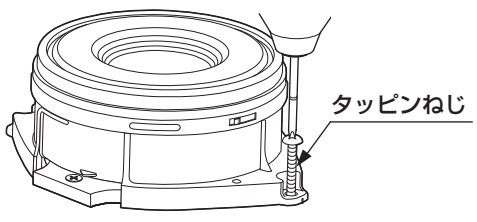


Pシール取り付け位置

❾排水ソケット本体をフランジの上からかぶせるようにしてタッピンねじで固定します。

※排水ソケット本体はPシールがしっかりなじむように床付きするまで押し付けてからタッピンねじで固定してください。

※Pシールが排水口内側にはみ出た場合は、水が流れやすいように外側に広げて段差をなくしてください。



⚠ 注意

必ず実行

排水ソケット本体が床に接するようにタッピンねじをしっかりと締め込んでください。

タッピンねじの締め込みが不完全な場合、水漏れの原因になることがあります。

※本紙記載の品番は予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。